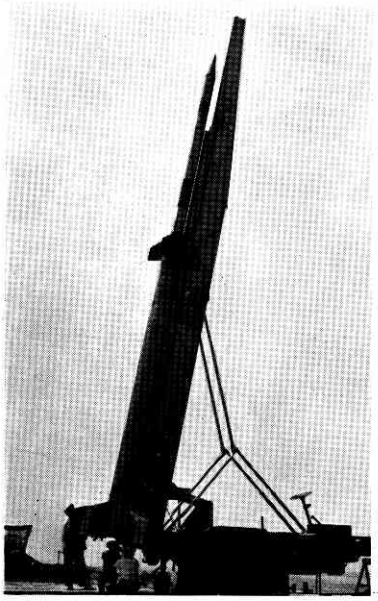
IIS NEWS

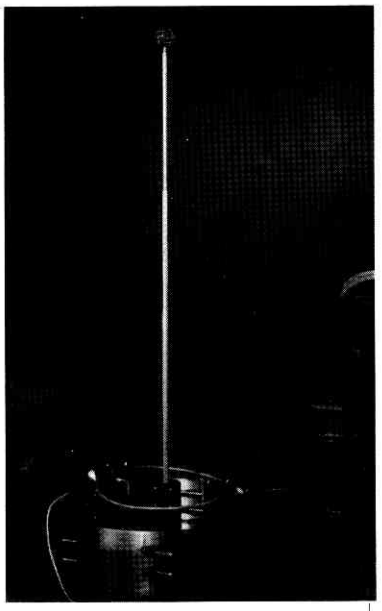
☆ 電離層と気温・風の同時観測 ☆

カッパ8型7号機 ↓



カッパ8型7号機は，昭和36年7月21日，秋田県道川で飛しょう観測を行なった．今回の観測目的は，電離層における正イオン密度・電子密度・電子温度の3要素と，80 km 付近までの気温・風の観測で，気温・風観測のための発音弾は8個搭載された．電離層と気温・風の観測を一つのロケットで観測したのは初めてであり，発音弾もこれまでのうちでは一番多く，上層の分布を詳しく調べる方向に進んでいる．なおこれは世界ロケット共同観測週間への参加として行なわれた．

次の飛しょう観測は10月中を予定している．



電離層観測のためにロケット頭部に装着した観測機器で上層で開頭する仕組みになっている． ↑

IIS NEWS

第13巻　　生産研究8月号目次　　第8号

表　　紙　組み立てられたアルミニウム応急橋（本文1ページ参照）

研究解説

高力アルミニウム合金製組立応急橋……福田武雄，加藤正夫……1

放射性追跡法による摩耗試験……加藤正夫……6

極圧添加剤について……松永正久……11

球形ロケット……秋葉鐐二郎……17

海外事情

ヨーロッパ知識人エガート博士の見た日本……野崎　弘……23

生研ニュース……26